

# 校舎長 × 合格者

～合格対談～

坪倉一成くん (洛西高校)

大阪大学 工学部

大阪大学・工学部に合格した坪倉くんは、高校1年の夏に河合塾マナビス京都駅南校に入会。マナビスでの受験生活を山口校舎長と振り返ってもらいました。

山口校舎長「阪大合格、おめでとう！」

坪倉くん「めっちゃ、うれしいです。自分が本当に阪大に行けるとは思ってませんでした。」

山口校舎長「高1の夏にマナビスに来たときは阪大志望っていうわけでもなかったよね。」

坪倉くん「考えもしてませんでした。山口先生に最初に模試を見てもらったときに

『阪大いけるよ』って言われたから阪大目指しました。でも、半分疑ってましたよ(笑)。気分よく勉強させるために言ってるんやろな〜って。」

山口校舎長「信じてなかったの?(笑) 坪倉くんがしっかり頑張ったから合格できたんですよ。」

山口校舎長「そして坪倉くんたちは新入試世代。いろいろ振り返られましたね。」

坪倉くん「新入試はそんなに気にしませんでした。センター試験が変わるって聞いてもそもそもセンターやったことないし。でも英語の外部試験とかコロコロ変わるのはいやでしたけど…。あと、過去問がないというのは不安でした。」

山口校舎長「そして、次は学校の休校がありました。」

坪倉くん「部活の大会がなくなってしまって、しれっと引退しました…。その分、勉強に打ち込みましたね。マナビスで言われたとおりのことをやりました。英単語も1日30分×3セットを毎日しました。」

山口校舎長「素晴らしい! 今年の入試はあの3か月で決まると思っていました。」

坪倉くん「休校中に山口先生から来た手紙、めっちゃおそろしかったですよ(笑)

『夏休みがなくなるから受講を前倒ししろ』って書いてあったのでひたすら受講を進めました。」

山口校舎長「受験を振り返ってどの時期が一番しんどかったですか？」

坪倉くん「化学とか新しい単元を勉強しているときは楽しかったです。」

でも全単元の勉強が一通り終わってから、阪大にむけて点数をあげていく時期がつかかったです。」



山口校舎長「どこで手ごたえを感じましたか？」

坪倉くん「やっぱり、阪大オープンですね。これがけっこう良かったので自信になりました。」

山口校舎長「そしていよいよ共通テスト本番。」

坪倉くん「自己採点で予想ボーダーにのったから喜んでいたら思った以上に平均点が高くて…。結果、D判定でした。」

山口校舎長「出願前に『行けますか?』って不安そうでしたね。その時も『行けると思うよ』って言いましたけど。」

坪倉くん「挑戦して良かったです。二次はできたかなって思ったんですけど、合格発表まで中期試験の勉強をしないといけなかったので、前期試験から発表までの期間がしんどかったですね。」

山口校舎長「合格発表で自分の番号をみた時の気持ちはどうでしたか？」

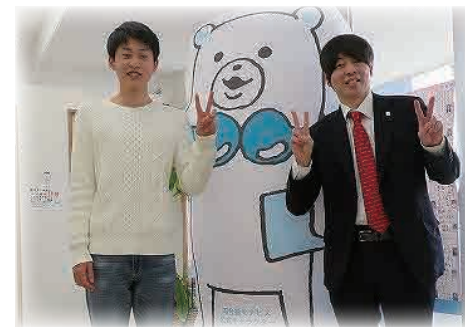
坪倉くん「涙が出そうになりました。」

横で母親が泣いていたのでもらい泣きしそうに…。」

山口校舎長「大学受験は周囲の人へ感謝の気持ちを持つことができる良い機会だと思います。最後に坪倉くんにとって大学受験はどのようなものでしたか？」

坪倉くん「僕は飽き性でこんなに長いこと続けたのは勉強が初めてでした。マナビスに來させてくれた親に本当に感謝しています。まだイメージがわかりませんが、大学生活、いろいろとトライしてみたいと思っています。」

山口校舎長「本当に楽しみですね。充実した大学生活を送ってくださいよ。」



坪倉くん、現役合格おめでとうございます。  
今後の更なる活躍を期待しています。